

プラスチックごみ削減普及啓発プロジェクト

活動地域  東京都、埼玉県、他

LOVE BLUE助成

3年目

知識の提供・普及啓発

出前授業の実施	4校
啓発ツール貸代	6件
今年度計画の達成度	70%
全体計画の達成度	80%



啓発ツール活用・学びのある川ごみ拾い

苦勞した点と工夫した点

■苦勞した点

出前授業では地域で活動される方にサポートを依頼し、共に児童との活動を行った。今後も継続して協働するためにはさらなる働きかけが必要だが、そこまでは至らなかった。

■工夫した点

3年目は、川ごみ削減の取組みを広めるために各地で講座を開催する予定であったが、冊子の制作に切り替え、各地に配布したことによって、より広域的な広がりをみせた。

課題

川や海ごみの問題を自分事として捉えられず、具体的な行動につなげられない人が多い。この問題に対応するための「ごみ削減普及啓発ツール」の整備が十分ではない。

目標

出前講座の実施、及び啓発ツールの活用等により、プラスチックごみ削減の啓発を推進し、海洋プラスチックごみ問題を自分事として捉え行動できる人を増やす。

活動内容と成果

- 小学校4校で海や川ごみ削減のための出前授業を実施し、別途要請を受けた1校では川ごみ拾いのサポートを行った。実施に際し、学校周辺地域で活動されている方にもサポートを依頼し、それぞれの地域における環境学習の広がりを視野に入れて臨んだ
- 子どもたち自身が、自分にできるごみ削減の行動を考えた
- 編集委員会を4回開催し、川ごみ削減を伝えることができる地域リーダー育成をめざした「川ごみ学習ポイントブック」を作成・配布した
- 啓発ツールを活用した学びのある川ごみ拾いを、地域団体との共催で2回開催した



小学校での出前授業の様子

全助成期間の活動を振り返って

小学校での出前授業を延べ10校で実施。啓発ツールを活用した学びのあるごみ拾いは3年間で7回実施。これらの活動内容をいかしてパネル等の川ごみ削減啓発ツールを制作、改良した。また、3年間の集大成として「川ごみ学習ポイントブック」を制作した。3年間の助成期間があったからこそ、課題を分析し、内容を深め、成果をあげることができた。また、多くの人に啓発を行うと同時に、当会スタッフのスキルアップにも繋がった。



啓発ツール(ごみ実物ボード)貸出し

〒132-0033
東京都江戸川区東小松川13-35-13-204
電話：080-8167-8577
E-mail：kawa53@kawagomi.jp
HP：https://kawagomi.jp/



今後の展望

3年目に制作した「川ごみ学習ポイントブック」を活用し、地域講座の中で、川ごみ削減を広める地域リーダーを増やしていく。地域講座は当会が主催するものではなくても、地域での環境学習講座等に当会理事等を講師として招聘いただき、対応できるようにする。啓発ツールについては、送料を負担いただくが自由に貸出すこととし、今後対面での開催が再開してくるであろう環境イベント等での活用をさらに推し進めていく。